

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

平成20年度

施設評価調書

施設の名称.....下田市民文化会館

所管担当課.....教育委員会生涯学習課

平成20年7月

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市民文化会館 (まいまいホール)		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係		
3 所在地	下田市4丁目1番2号		4 設置年月	平成元年4月26日		
5 総合計画の 位置付け	人財づくり	自ら学ぶ歴史のまちづくり		文化・芸術		
	施策体系	文化環境の整備 文化活動の支援		文化的地域環境の整備 文化施設の整備 文化活動・参加の支援 文化団体等の育成・交流		
	主要事業	市民文化会館管理運営事業 市民文化会館整備事業		市民文化会館の管理 文化芸術事業の実施 市民文化会館の施設・設備の整備		
6 設置目的	市民文化の向上と福祉の増進に寄与する					
7 設置根拠	下田市民文化会館条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 9,836.20 m ² 建築面積 2,958.97 m ² 延床面積 4,749.93 m ² 構造 鉄骨鉄筋コンクリート地下1階、地上4階				
		大ホール・小ホール 会議室・リハーサル室・練習室部門 管理部門(事務室・館長室・応接室・受付兼宿直室・ロッカー室・ドリンクコーナー) 設備部門(機械設備・消防設備・衛生設備等) 駐車場				
	実施事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化振興拠点として、各種文化芸術イベントの企画、実施及び近隣文化施設における各種イベント情報の提供。 各種イベントにおける会場の貸出及びイベント時における助言、舞台技術の提供。 				
料金体系	料金区分	大ホール・小ホール、各楽屋 大会議室・小会議室 練習室・リハーサル室 各控室				
	主な料金		午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30
		大ホール				
		平日	14,000円	24,000円	30,000円	63,000円
		土日休日	16,000円	28,000円	35,000円	74,000円
		小ホール				
		平日	6,000円	8,000円	10,000円	23,000円
		土日休日	7,000円	10,000円	11,000円	27,000円
		大会議室	4,000円	5,500円	5,500円	15,000円
		小会議室1 2	1,500円	2,000円	2,000円	5,500円
		小会議室3	900円	1,200円	1,200円	3,300円
平成20年4月1日より上記料金に改正。						

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

8 施設の概要	料金体系	減免内容	(使用料の減免) 第7条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 2 前項の規定する使用料の減免は、次に掲げるとおりとする。 (1) 市、南伊豆町若しくは河津町の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。全額免除 (2) 市内、南伊豆町内又は河津町内(以下「市内等」という。)の保育所、幼稚園又は小・中学校の主催で、園児、児童又は生徒の教育のために使用するとき。全額免除 (3) 公立小・中学校(市内等の公立小・中学校を除く。)又は公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき。5割の減額 (4) 国の機関若しくは地方公共団体又は公共的団体の主催で、その目的が公益のために使用するとき。3割の減額 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。3割の減額 *平成20年4月1日より上記に改正		
		利用料金制度	<input checked="" type="checkbox"/> 有	無	
	施設運営方法	直接運営			
		<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度	指定管理者	(財)下田市振興公社	
一部委託		委託内容			
直接従事職員	委託団体職員数 指定管理者 (財団法人 下田市振興公社7名)				
9 市内の類似施設	下田市所有	なし			
	民間所有	なし			
10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成19年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 開始翌年から(h02~) ・ 耐用年数 41年 ・ h01.3竣工 ・ 残存価格1円 ・ 建設事業費
	建設事業費	1,902,888,742			
	地質調査費	9,553,000	建物減価償却取得価格		
	設計競技	2,180,000	1,516,934,000円		
	周辺整備	20,274,000	建物年間減価償却額		
	用地購入	21,918,797	1,516,934千円/41年=36,998,390円		
	実施設計料	35,000,000	建物減価償却後残高(41年-18年)		
	工事管理費	20,800,000	850,962,980円		
	取得価格計	1,516,934,000	土地残高		
	建設工事	903,900,000	建設工事残存価格		
	電気設備工事	131,300,000	電気設備残存価格	0円	
	機械設備工事	53,469,000	機械設備残存価格	0円	
	合併処理設備工事	31,165,000	衛生設備残存価格	0円	
	空調設備工事	161,500,000	空調設備残存価格	0円	
	特殊設備工事	235,600,000	特殊部隊設備残存価格	0円	
	備品購入費	183,733,000	物品減価償却後残高	4,050円	
	その他委託	766,000			
その他工事	24,711,000				
事務費	67,018,945				
財源内訳	1,902,888,742				
国・県支出金	50,000,000				
市債	1,158,000,000	市債残高	0円		
一般財源	133,888,742				
基金繰入	561,000,000				

		区 分	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算	
収入	市民文化会館使用料		11,963,760	-	-	-	
	収入合計		11,963,760	-	-	-	
支出	11節 需用費		391,030	5,435,850	1,281,000	4,700,000	
	12節 役務費		442,998	113,968	98,833	100,000	
	13節 委託料		32,404,444	-	-	-	
		消耗品費		1,652,963	-	-	-
		光熱水費		13,887,416	-	-	-
		委託費		12,099,276	-	-	-
		その他		4,764,789	-	-	-
		指定管理料		0	62,944,000 人件費を含む	63,461,000 人件費を含む	64,241,000 人件費を含む
	15節 工事請負費		7,875,000	-	-	-	
	18節 備品購入費		153,400	-	-	-	
	19節 文化事業補助金		5,000,000	-	-	-	
	22節 補償補填及び賠償金		-	-	498,750	1,000	
	23節 償還金利子及び借料		-	-	-	-	
27節 公課費		8,800	-	-	-		
	支出計		46,275,672	68,493,818	65,339,583	69,042,000	
人件費	正規職員		6人	-	-	-	
			34,751,921	-	-	-	
	臨時職員		1.5人	-	-	-	
			3,727,906	-	-	-	
	計		7.5人	-	-	-	
			38,479,827	-	-	-	
	支出合計 = +		84,755,499	68,493,818	65,339,583	69,042,000	
	減価償却費		37,009,365	37,002,440	37,002,440	37,002,440	
	市債利子		0	0	0	0	
	下田市負担年間総経費 + + -		109,801,104	105,496,258	102,342,023	106,044,440	
備考	人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額) H19需用費は自家発電機設備・自動給水装置の修繕費である。						

平成20年度

施設名(愛称名)

下田市民文化会館

番号

21

(参考資料)

財団法人 下田市振興公社決算書(下田市民文化会館)

区 分		H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算		
収入	利用料金収入		13,300,665	12,748,060	12,550,000		
	指定管理料		62,944,000	63,461,000	64,241,000		
	入場料収入		8,794,940	9,902,643	9,610,000		
	自主事業収入		2,667,208	3,283,028	2,220,000		
	受託事業収入	32,404,444					
	収入計	32,404,444	87,706,813	89,394,731	88,621,000		
(財) 下田市振興公社決算	管理運営費	給料		14,438,100	15,759,600	16,350,000	
		諸手当		8,364,185	8,439,000	8,800,000	
		賃金		6,431,714	6,065,377	6,330,000	
		法定福利		3,937,661	4,188,969	4,174,000	
		退職金掛金		695,340	744,040	767,000	
		旅費	98,660	73,160	47,360	48,000	
		消耗品費	1,652,963	1,624,548	1,595,868	1,506,000	
		印刷製本費	657,340	150,000	145,845	150,000	
		燃料費	109,431	109,491	118,000	130,000	
		光熱水料費	13,887,416	14,503,149	14,325,237	14,484,000	
		修繕費	2,186,499	2,491,640	2,517,755	2,251,000	
		通信運搬費	618,930	552,159	618,941	619,000	
		手数料	89,250	125,722	235,913	157,000	
		賃借料	901,259	681,245	682,364	714,000	
		保険料		311,410	301,150	318,000	
		委託料	12,099,276	12,173,000	11,984,663	12,213,000	
		負担金支出	103,420	38,000	38,000	38,000	
	租税公課費		1,763,250	1,784,000	1,832,000		
	小計	32,404,444	68,463,774	69,592,082	70,881,000		
	支出	文化事業費	諸手当		500,000	500,000	500,000
			報償費		187,200	189,500	240,000
			旅費		36,900	115,440	59,000
			消耗品費		1,601,515	925,209	1,129,000
			食料費		74,978	267,429	222,000
			印刷製本費		740,795	1,072,386	838,000
			通信運搬費		0	5,795	25,000
			手数料		166,386	330,503	181,000
			賃借料		137,440	197,962	123,000
			保険料		0	0	10,000
			広告料		397,950	565,450	654,000
			委託料		9,431,776	10,214,469	10,084,000
			被服費		20,000	18,500	20,000
		租税公課費		0	0	25,000	
小計			13,294,940	14,402,643	14,110,000		
自主事業費	事業経費		2,134,737	2,729,096	1,720,000		
	負担金支出		500,000	500,000	500,000		
	小計		2,634,737	3,229,096	2,220,000		
法人管理按分支出				1,587,000	1,410,000		
支出計		32,404,444	84,393,451	89,394,731	88,621,000		

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

12 施設利用 状況等の推移	施設別 利用者数	利用年度	H17 年度決算	H18 年度決算	H19 年度決算	H20 年度	
		大ホール	58,432 人	47,409 人	49,465 人		
		小ホール	31,034 人	32,679 人	31,519 人		
		大会議室	11,348 人	13,524 人	12,417 人		
		小会議室	5,827 人	5,112 人	6,064 人		
		リハーサル室	2,444 人	2,672 人	3,272 人		
		その他	3,409 人	5,080 人	5,994 人		
		計	112,494 人	106,476 人	108,731 人		
		参考：利用単位当 たり市負担額	976 円	990 円	941 円		
		算出方法:11 欄の「下田市負担年間総経費」を利用者数で除する。					
		平成 19 年度 文化事業実施状況					
		事業名	開催日	入場者数	入場料収入(円)	事業経費(円)	
		文化支援事業 第 17 回「黒船祭美術展」	5/10~ 13	750 人	0	0	
		共催事業 フィルム・加テットコンサート	5/23	520 人	1,040,000	969,527	
		共催事業 第 12 回「下田吹奏楽祭」	7/16	700 人	0	0	
	小ホール EARTH クラシック 事業アド・バ・イグ -山田和樹がお届けす るクラシックのすすめ第 1 弾	7/25	100 人	200,000	203,700		
	レングラート・サカ	7/31	1,222 人	2,847,000	2,672,998		
	小ホール EARTH SAKISHIMA meeting in Shimoda	8/7	84 人	261,000	603,554		
	小ホール EARTH 落語 林屋三三鑑笑会	9/6	65 人	132,500	389,865		
	早稲田大学「リークワ」 創立 100 周年記念下田特別公演	9/11	683 人	1,003,500	804,696		
	市民企画 Nida UNIT コンサート	10/11	193 人	0	58,585		
	共催事業 第 6 回「伊豆合唱祭」	11/18	800 人	0	14,450		
	小ホール EARTH クラシック 事業アド・バ・イグ -山田和樹がお届けす るクラシックのすすめ第 2 弾	12/18	143 人	286,000	213,946		
	第 19 回「下田名人会」	1/14	720 人	2,497,000	2,653,123		
	小ホール EARTH Kamishin Kosuke PremiumLive In Shimoda	1/25	100 人	245,000	394,097		
	共催企画 ゆずりんコンサート ～ありがとう 大好きさ～	2/2	664 人	517,500	726,606		
	錦織 健テノール・リサイタル	3/9	577 人	0	154,390		
	共催事業 第 3 回「太鼓のつどい」	3/16	430 人	0	97,641		
	計	16 回	7,751 人	9,029,500	9,957,178		
	平成 19 年度 自主事業実施状況						
事業名	開催日	入場者数	入場料収入(円)	事業経費(円)			
映画会	通年	4,964 人	957,250	1,294,430			
イベント支援事業	12 回	-	2,325,778	287,668			
計		4,964 人	3,283,028	1,582,098			
注：事業経費は、共通経費・消耗品・職員時間外経費等を除く							
休館日	月曜日 12/28～1/3						
使用時間	午前 9 時から午後 9 時 30 分まで						
13 利用者 満足度調査	実施の有無	☑ 有 無		調査 結果	文化事業実施時に併せて実施・回収 事業の継続や実施回数の増加を望む声が多 い。施設面では、トイレの改修を望む意見が 多く寄せられた = H19 床面改修済み。		
	直近の実施時期	平成 20 年 1 月					
	調査手法	利用者アンケート					
	調査数	4 回 / 年					

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	利用者数の目標値	人	120,000	120,000	120,000	120,000
	" の実績	人	112,494	106,476	108,731	
	目標達成度	%	93.74	88.73	90.06	
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 市民文化の向上と福祉の増進を計る基準が困難である。 施設の利用者数をもって指標とする。 過去8年間の最大値を目標値とする。(平成13年度120,000人)					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標	市民が文化活動に従事している時間	当会館の目的は「市民文化の向上と福祉の増進」にある。この達成度合いを把握するための指標として市民が文化活動に従事している時間が考えられる。しかし、現在のところ市民が文化活動に従事している時間を把握していないため、今後の検討課題とする。			
	代替指標	会館利用者数	当会館は、市民文化向上の活動拠点であるため、会館利用者数全体を指標とした。目標値として、過去最大の利用者数を目標数値とした。			

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合いを把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
活動指標	目標指標	文化提供機会の向上	目標値	回	48回	48回	48回	48回
			実績値	回	78回	57回	60回	
			達成度	%	162.5%	118.7%	125.0%	
	目標指標の考え方	文化提供機会の向上を図る。(映画事業を含む) H13年度からH17年度の平均値を目標値とする(平均48回/年)						
活動指標	目標指標		目標値	回				
			実績値	回				
			達成度	%				
	目標指標の考え方							
活動指標	目標指導		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	施設の総利用者数等		人	112,494人	106,476人	108,731人	
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	84,755,499円	68,493,818円	65,339,583円	千円
	利用単位当たり経費	÷	円/人	753円/人	643円/人	601円/人	
総利用者数等の考え方	会議室、ホール等貸し館について、申請に基づく利用者、自主事業における入場者数を集計し総利用者数としている。ドリンクコーナー、トイレだけの利用者は集計されていない。		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。	H17 中央監視盤等改修工事を含む H18 空調機・採水配管修繕を含む H19 自家発電機設備・自動給水装置修繕を含む			

その他の指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
目標指数	目標指数	目標値	千円					
		実績値	千円					
		達成度	%					
目標指数の考え方								
目標指数	目標指数	目標値	千円					
		実績値	千円					
		達成度	%					
目標指数の考え方								
目標指数	目標指数	目標値	千円					
		実績値	千円					
		達成度	%					
目標指数の考え方								

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	使用料原価	1㎡1時間あたりの原価	円	4.7円	3.9円	3.8円	円
	稼働割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	%	708%	514%	435%	%
	1㎡1時間適性使用料	×	円	33.28円	20.04円	16.53円	円
	現行1㎡1時間使用料の平均	大・小ホール、会議室、楽屋等の平均値	円	7.96円			
	適正化計画	大・小ホール、会議室、楽屋等の見直し	平成20年4月1日料金改正(空調加算廃止)				

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	概ね利用がされている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	映画鑑賞事業の開催、国際交流としての外国語講座の開催、芸術祭や発表会等における舞台技術の提供。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めているか	市内近隣に類似施設がないため将来的に必要である。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	施設の老朽化が進み高額な修繕が見込まれる。詳細は別添のとおり
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	ホームページ・パンフレット・チラシ等によって情報公開されている。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	市内又は近隣市町にはない。 最寄りの類似施設：伊東市民文化会館
		民間においても十分可能な施設なのか	同種の施設は全国的に民間所有は少なく同規模、老朽化等を考慮した場合困難。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうなのか	施設の上住民福祉の向上に比重が置かれている。
		同種施設との比較、近隣施設と比較してどうなのか	施設全体としては公立文化施設として適性であるが、ホールのみで規模等を考慮した場合、若干高額となっている。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いはどうなっているのか	近年計画上の数字を若干下回っている。大ホールの利用者減が要因。
施設の耐用年数は何年有るのか		建物本体は20年以上あるが、設備、備品については耐用年数を超過している。	
施設の今後の維持経費の算定はどうなのか		指定管理料に加え改修工事費用が必要。	
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	本来であれば今以上の管理運営経費が必要であるが、市行政経営を考慮している。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	施設老朽化による危険性もあるので今以上の管理運営を強く望む。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	規模等から判断して適性。
		施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか
老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	市民、学校、行政において非常に利用率の高い施設のため今後も改築等により維持していきたい。		
地域、民間に譲渡できないのか	施設設備の老朽化、備品の不足により大規模な改築工事が必要であり、現状では困難。		
その他	施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	類似施設等がないため難しい。	

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	地域性、本施設の現状を考慮した場合、行政が関与しなければならない施設と判断する。また、設置目的は近隣住民すべてのための施設であり公平性、透明性がより強く求められる。
	受益者負担の妥当性	近隣類似施設と比較した場合、受益者負担の割合は高い。しかし、市内会議室等で比較した場合高額に設定されているため定期的な検討、見直しが必要である。
	実施主体の妥当性	平成18年4月より指定管理者制度を導入し、管理委託時と同様に(財)下田市振興公社が管理運営を行っている。施設について熟知しており管理については妥当と判断する。運営については民間で実施している施設もあるため検討が必要である。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	近隣に類似施設がないことや、建設の際に市民の強い要望があったことを考慮すると廃止等は適切でない判断する。 特殊設備が多く維持管理更新に多額な経費が必要だが現在は市財政と調整し可能な範囲で更新している。そのため、施設全体の状態及び過去の修繕経過、操作方法を熟知した職員の配置が必要である。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	利用者数12万人が当面の目標。 利用頻度の低い大ホールや小会議室の利用者誘致が必要。 事業のPR活動の強化を図りたい。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	財政面においては内容の見直しや、企業努力により能率化が図られている。運営面において事業の認知度が高まってはいるがまだ低い。宣伝ルート、営業ルートの確立が必要。 多目的に利用可能な施設であるため、よりニーズ対応体制の強化が必要。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	平成20年4月～ 小ホール、会議室の料金、減免規定を改定。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	イベント時に通年実施(平成19年度4回実施)。結果の分析と、利用者以外からのアンケート徴収、結果を運営に活かす手法の確立が課題である。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	施設規模から判断して駐車スペースが少ないため貸出における工夫が必要。より柔軟に利用者ニーズに対応するため、民間や市内他施設との協力体制を確立したい。設備の対応年数経過の観点から経費の増加や安全性の確保。利用者の増加による維持管理経費の増加も課題と思われる。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	実際の利用者からの評価は高いが、利用したことがない人から見て利用手続きが複雑で利用しにくいイメージが強い。利用者誘致のための宣伝広報を強化し、施設の来場回数の上昇、利用者数の向上に繋げたい。電子媒体の充実と情報誌の有効活用。

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市民文化会館	番号	21
--------	----------	----------	----	----

平成19年度事業内容及び見直し事項

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興事業(自主事業) ・施設管理運営事業 ・文化活動支援事業
見直し事項	現指定管理者：(財)下田市振興公社 平成20年4月1日から平成25年3月31日まで

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費 (千円)	備考
1	大ホール吊り物ワイヤーリニューアル	44,100	
2	大ホール吊り物操作盤制御盤	5,565	
3	大ホール残響可変装置制御盤	3,097	
4	大ホール吊り物リミットスイッチ交換	2,541	
5	大ホール照明機器	37,464	操作卓改修
6	大ホール照明機器	109,000	ユニット関係
7	大ホール音響	74,000	全面改修
8	小ホール舞台吊り物	18,000	
9	小ホール舞台照明	15,000	
10	小ホール舞台音響	37,000	
11	舞台備品(平台各種)		単価見積
12	映写機交換	19,000	
13	外壁改修工事	20,000	外壁2面
14	外壁改修工事	20,000	外壁2面(小ホール側)
15	中水槽、トイレ等改修(上水導入)		未調査
16	クーリングタワー上水設備設置	922	
17	地下室送風機関係改修		未調査
18	小ホール舞台迫関係改修		未調査
19	2020年(H32)フロン完全撤廃		未調査
20	小ホール、楽屋、会議室屋根関係		未調査
1~20の合計額		405,689千円	

平成20年度	施設名(愛称名) 下田市民文化会館	番号 21
--------	-------------------	-------

今後の方向性

今後の方向性	<p>充実 効率化等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める</p>	<p>(具体的な内容)</p> <p>年間利用者が10万人を超える文化施設であり、近隣に類似施設が存在しないことから、下田市民及び近隣住民の文化活動拠点として欠かすことができない施設として、今後も継続した管理運営が望まれる。</p> <p>平成元年4月のオープン以来19年を迎え、設備の老朽化や耐用年数の超過が施設全般に見られる状況にあり、慢性的な地下室の湧水など建築本体の問題も多い。平成19年度においても設備の故障や音響機器の不具合が頻発しており、指定管理者の迅速で適切な対応によって施設の円滑な運営を保っているが、舞台音響機器など経年により修繕不可能な設備も多く、それらの故障は施設運営自体を危機に陥れることから、早急なりニューアルが強く求められている。</p> <p>平成18年4月より(財)下田市振興公社が指定管理者として、市民を対象とした多彩な文化・自主事業の展開と、地域文化団体への支援を行っている。同社の積極的な事業展開と利用者サービスの向上により、施設利用件数は1,700件を超え、利用人数は108,731人を数える。この内には、公的・文化的な事業として減免対象となった利用も多く含まれており、地域生活と文化への貢献という採算面だけでは評価できない利用成果をあげている。</p> <p>(財)下田市振興公社は、本施設の管理を平成5年4月から担ってきた実績があり、地域に密着した運営手法と技術力、施設管理能力は高く評価できる。また、老朽化が極めて深刻な問題となっている本施設の現状からみて、施設を熟知し、対処能力を備えた同社でなければ現状の維持管理を継続することは困難と考えられる。</p>
--------	---	---